

「日本ファブテック(株)」紹介

1983年 大学院工学研究科修了 西本 哲也



日本ファブテック(株)は橋梁と鉄骨を製作するファブリケーターの2社が経営統合してできました。共に100年企業である東の(株)東京鐵骨橋梁と西の片山ストラテック(株)が、それぞれの経営資源の集約による事業競争力と収益性の強化を目的に2016年10月に経営統合が完了し、2017年4月1日に「日本ファブテック株式会社」という社名に変わりました。

2社とも橋梁と鉄骨を永年生業としてきた2社であり、その思いを込めた社名の由来を以下に示します。

新会社名の由来

日本ファブテック株式会社

株式会社 東京鐵骨橋梁 片山ストラテック株式会社

新社名の「日本」には、100年にわたり東(東京鐵骨橋梁)と西(片山ストラテック)を拠点として事業展開してきた両社が、一体となって業界トップグループの一角を担うという意気込みを表しています。また、「ファブテック」は「ファブリケーター(製造業・加工業)」と「テクノロジー(技術)」を組み合わせた造語で、「ファブ(FaB)」のネーミングには、「鉄骨と橋梁」=“Frame and Bridge”という新会社が担う事業の二本柱を表現する意図が込められています。

新ロゴマークのコンセプト

“未来を支える”
社会基盤を支える企業でありたいとする当社の基本方針であり、「支」の字をモチーフに鉄骨・橋梁の二本柱と二社の融合を表現しました。
上昇する赤は「明るい未来・文化・社会の象徴」「ものづくりの喜び・活力・将来性」
「チャレンジし続ける決意」を表わし、背面のグレーは「鋼の力強さ」「黒子として裏で支える企業姿勢」をイメージしています。
「未来を支える力強さ」と「変化するチャレンジ」を表現したシンボルマークです。

ここで、少し個人的なことを少し書かせて頂きます。

私は出身が和歌山県であり、大学院を修了する際、鋼構造研究室の故西脇威夫先生から、「現在、東骨と片山から募集が来ているが、君は関西出身だから片山を推薦しよう。」とのお言葉で片山にお世話になりました。まさか西脇先生も将来その2社が統合するとは思ってもいなかったでしょう。

入社後は橋梁設計部に6年、その後は片山の大阪工場で橋梁製造一筋で勤めてまいりました。

2010年に埼玉県熊谷工場に単身赴任となり、橋梁から一転、鉄骨製作にどっぷりのサラリーマン生活を送るようになりました。2014年2月の関東地方を襲った豪雪で、私の目の前で老朽化した工場建屋が一瞬に崩壊し、あわや命拾いをした経験もあります。

その後、東骨との経営統合で、現在は日本ファブテックの本社工場である取手工場で工場長として橋梁と鉄骨の製作に携わっております。片山の熊谷工場時代はまだ大阪に帰る切符を頂いておりましたが、日ファブとなり大阪工場が閉鎖された今となっては帰りの切符も使用不能となっております。

私も還暦を過ぎ、サラリーマン生活のゴールも見えてまいりましたが、最後まで取手で頑張ろうと思っています。



船越顧問 と 西本さん



中山幹事 と 西本さん



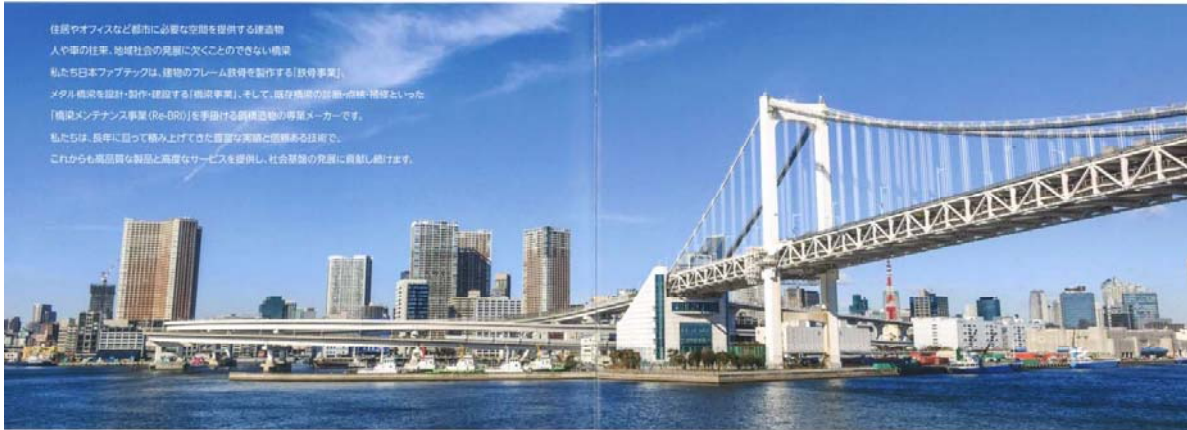
会社概要と当社の生業とする3事業、全国に4か所ある生産拠点を以下に示します。

会社概要

商号	日本ファブテック 株式会社	建設業許可	国土交通大臣 (特-27)第4765号 許可年月日:2015年(平成27年)8月15日
創業	1914年(大正3年)	建設コンサルタント登録	建27第6822号 登録年月日:2015年(平成27年)3月15日
設立	1928年(昭和3年)	一級建築士事務所登録	茨城県知事登録第A3533号 登録年月日:2016年(平成28年)9月1日
資本金	24億3,780万円	ISO 9001 取得	MSA-QS-1 取得年月日:1997年(平成9年)6月20日
従業員数	約700名	ISO 14001 取得	MSA-ES-235 取得年月日:2003年(平成15年)12月17日
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 鉄骨、橋梁、鉄塔、水門、プラント鉄骨等各種鋼構造物、軽金属構造物の設計、製作ならびに建設工事 上記に関する各種の調査、診断ならびに補修工事 クレーンその他建設、工作用諸機械の設計、製作、据付ならびに修理 土木、建築、その他建設工事 情報処理機器を利用したソフトウェアの開発、販売ならびに処理サービス業 上記各項に関する調査、研究、技術開発ならびにコンサルティング業務 	COHSMS 認定	JC135-1 取得年月日:2014年(平成26年)8月1日

事業の概要

人と人のつながりを支える
都市の空間を創り 文化の交流を支える



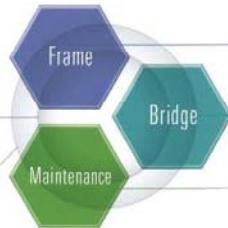
日本ファブテックは、鋼構造メーカーとして
長年培った技術により日本の社会基盤を支えてきました。
100年におよぶ歴史と実績、そしてより一層
技術力に磨きをかけ社会に貢献します。

自社保有技術

KAP(鉄骨製作オートシステム)、
SYMPHONY(3次元制御システム)、
STRUM(鉄骨組立の加工、成形技術など)、
多くの独自技術を保有しています。

研究・開発

最新研究では、大規模な鉄骨構造を100%
品質確保を目的とした各種試験を実施し、様々な実験や
新技術の開発にも積極的に取り組んでいます。



鉄骨事業	超高层オフィスビルから教育・スポーツ施設、大空飛球遊園地まで、日本のあらゆる建築物に高品質な鉄骨フレームを提供しています。
橋梁事業	桁梁・吊橋・アーチ橋など、構造形式の異なる様々な鋼橋の設計・製作・架設を一貫して担当し、社会基盤整備に大きな役割を果たしています。
橋梁メンテナンス事業 (Re-BR) (リアブリ)	老朽化した橋梁の診断および点検から補修・補強まで、維持メンテナンス技術 (Re-BR) の構築により、橋梁のライフサイクルコストの低減を実現します。

Frame
Bridge
Maintenance

本社 / 取手工場 〒302-0038 茨城県取手市下高井1020
TEL 0297-78-1111 FAX 0297-78-5462



熊谷工場 〒360-0115 埼玉県熊谷市成沢1214-3
TEL 048-536-1231 FAX 048-536-4404



防府工場 〒747-0833 山口県防府市浜方283-1
TEL 0835-23-5100 FAX 0835-22-9848



千葉臨海工場 〒290-0067 千葉県市原市八幡海岸通13-11
TEL 0436-41-5292 FAX 0436-43-5922



S 56年卒 S58年大学院卒



T 302-0038
茨城県取手市下高井一〇二〇番地
電話 〇二九七(七八)一一一四
FAX 〇二九七(七八)二六八一
E-mail: tetsuya_nishimoto@j-fab.co.jp

執行役員

西 本 哲 也

技術士(建設部門)

日本フアブテック株式会社

橋梁事業本部副本部長兼取手工場長



国土交通省
工事成績優秀企業
東北地方整備局
九州地方整備局



日本ファブテック株式会社
CORPORATE PROFILE 会社案内



日本ファブテック株式会社
www.j-fab.co.jp



FaB-Tec Japan Corporation

経営基本理念

Management Principles

- 1 顧客のニーズに応え、技術の向上により、より良い品質を追求する。
法令遵守を徹底し、信用ある製品、サービスの提供に努め、社会に貢献する。
- 2 時代の変化に即した経営の革新を図り、人の和を大切に全社の総合力をもって、永遠の発展を続ける企業を創造する。
- 3 人間尊重を基本に無事故・無災害を実現し、従業員の真の働き甲斐と生活の向上に努める。



Top Message

ご挨拶

いまを支え、未来へとつなぐ

日本ファブテック株式会社は、鋼構造メーカーとして共に創業から100余年の歴史を持つ、(株)東京鉄骨橋梁と片山ストラテック(株)の経営統合により、2017年4月に誕生しました。

両社はこれまで、鉄骨・橋梁など鋼構造物の設計から製作、建設までを一貫して担う専門メーカーとして数多くの大型プロジェクトに携わり、「ものづくりの喜びが人々の笑顔につながる」を励みとして社会基盤の整備に貢献してきました。

時代と社会のニーズが、かつてないスピードで大きく変化中、その要請に応え“信頼される製品”を提供し続けること、鋼橋の保守・保全という喫緊の社会的課題に応えること、それが私たちの使命です。

ものづくりを支える「現場力」が私たちの強みであり、幾度となく直面した試練の中で研鑽し育んだ「技術力」、それを担うプロフェッショナルな「人財」こそ会社の力です。常に正面

から物事に取り組み、成果に結び付けていくことで、こうした力をさらに強固なものとして継承・進化させ、人々の笑顔につながる社会基盤の整備の一端をしっかりと支え続けていきます。

“多くの皆様に支えられて今日の私たちがいる”ということを常に心に刻み、社会に貢献する企業として誇りと責任を持って製品を提供いたします。そして、更なる品質の向上、環境の保全、コンプライアンスの徹底、など企業の社会的責任を果たしてまいります。

豊かな社会づくりに貢献する企業として、未来へ!! 私たちの挑戦にご注目ください。

日本ファブテック株式会社
代表取締役社長

小野重記

人と人のつながりを支える 都市の空間を創り 文化の交流を支える

住居やオフィスなど都市に必要な空間を提供する建造物

人や車の往来、地域社会の発展に欠くことのできない橋梁

私たち日本ファブテックは、建物のフレーム鉄骨を製作する「鉄骨事業」、
メタル橋梁を設計・製作・建設する「橋梁事業」、そして、既存橋梁の診断・点検・補修といった
「橋梁メンテナンス事業 (Re-BRI)」を手掛ける鋼構造物の専門メーカーです。

私たちは、長年に亘って積み上げてきた豊富な実績と信頼ある技術で、
これからも高品質な製品と高度なサービスを提供し、社会基盤の発展に貢献し続けます。



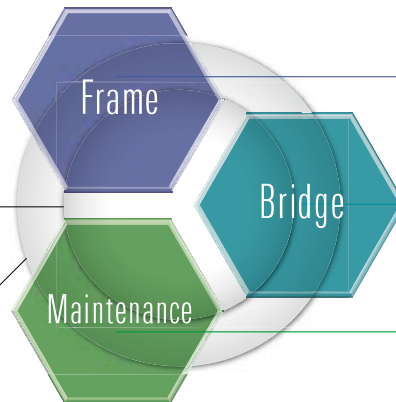
日本ファブテックは、鋼構造メーカーとして
長年に亘って培った技術により日本の社会基盤を支えてきました。
100年におよぶ歴史と実績、そしてより一層
技術力に磨きをかけ社会に貢献します。

自社保有技術

KAP (鉄骨製作トータルシステム)、
SYMPHONY (3次元製品モデルシステム)、
STRUM (鉄道線路切替) 工法、合成床版など、
多くの独自技術を保有しています。

研究・開発

技術研究所では、大型疲労試験載荷装置をはじめ、
品質確保を目的とした各種試験機を有し、様々な実験や
新技術の開発にも積極的に取り組んでいます。



鉄骨事業

超高層オフィスビルから教育・スポーツ施設、大空間建造物まで、
日本のあらゆる建築物に高品質な鉄骨フレームを提供しています。

橋梁事業

桁橋・吊橋・アーチ橋など、構造形式の異なる様々な鋼橋の設計・製作・架設を
一貫して担当し、社会基盤整備に大きな役割を果たしています。

橋梁メンテナンス事業 (Re-BRI) (リブリ)

老朽化した橋梁の診断および点検から補修・補強まで、維持メンテナンス技術
(Re-BRI) の構築により、橋梁のライフサイクルコストの低減を実現します。

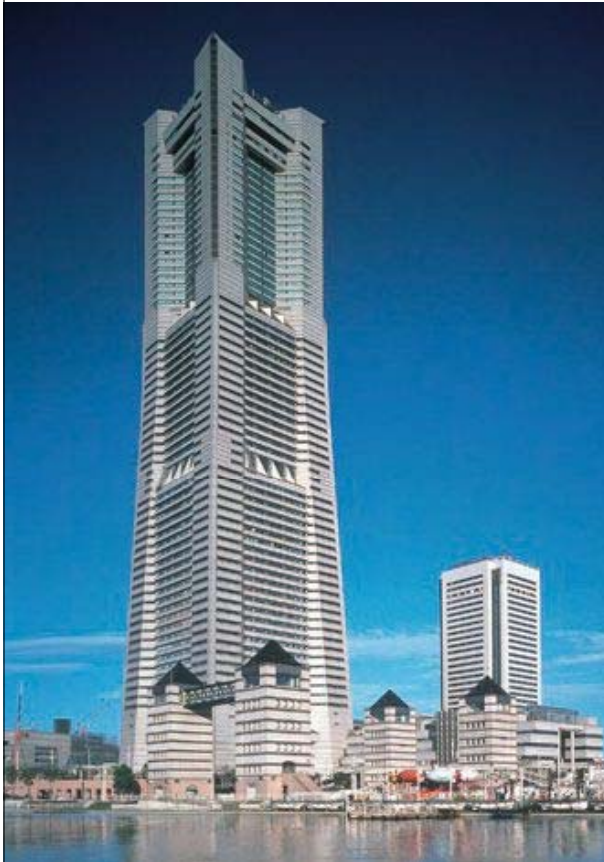
Frame

Bridge

Maintenance

大正3年の創業以来、磨き続けてきた技術 そして、歴史に裏付けされた実績

当社の鉄骨の歴史は、深川にあった工作場の一角で鉄鋼物を手掛けたことに始まります。
100年を超える長い歴史の中で、私たちは東京都第一本庁舎や横浜ランドマークタワーを始めとする多くの超高層ビルの鉄骨を製作し、現在までに3,000件を超える実績を残しています。
都市の中で快適に、そして安心な空間を提供する建築物。
その構造体である高性能フレーム鉄骨を製作し、現場で組み立てる仕事は私たちの誇りです。
これからも責任を持って都市基盤の整備に貢献していきます。



1993 横浜ランドマークタワー
規模:地下3階・地上70階・塔屋3階
鋼重:62,000t(2,655t)
港町「横浜」のシンボルともいえる超高層ビルです。高さ296mを誇り、開業から約20年にわたって「高さ日本一」の座を保持しました。



1989 幕張メッセ
規模:延床面積164,919㎡
鋼重:約15,000t(4,930t)
東京ビッグサイトに次ぐ規模のコンベンションセンター(国際展示場)です。
当社は、東京モーターショー開催でも知られる国際展示場の主トラス他を製作しました。



1995 東京ビッグサイト
規模:延床面積(全体)250,778㎡(東展示場)51,380㎡
鋼重:東展示場8,500t(4,202t)
“東京ビッグサイト”は、日本最大のコンベンションセンターである東京国際展示場の愛称です。
かつて当社は東展示場の建設を担当しましたが、隣接して計画された増築工事も携わりました。



1978 サンシャイン60
規模:地下4階・地上60階・塔屋3階
鋼重:24,000t(5,278t)
東京都「池袋地区」のシンボリック存在の超高層ビルです。
高さは240mほどで、完成当時はアジア圏内で最も高いビルとして名を馳せました。



2007 東京競馬場
規模:延床面積176,907㎡
鋼重:当社製作分29,772t
競馬の祭典日本ダービーを始め数々のGLレースが開催される大舞台です。
当社は、競馬場のメインスタンドの鉄骨を担当しました。

2003 六本木ヒルズ森タワー
規模:地下6階・地上54階・塔屋2階
鋼重:86,284t(5,042t)
複合施設「六本木ヒルズ」の中核を担う高さ238mの超高層ビルです。
単なる商業施設ではなく、東京の新しい文化施設としての役割も担っています。



2004 コレド日本橋 (日本橋一丁目三井ビルディング)
規模:A街区・地下4階・地上20階・塔屋1階
B街区(アネックス)・地下2階・地上2階
鋼重:18,850t(5,088t)
旧白木屋呉服店跡地の再開発事業で誕生した複合施設です。
当社は、昭和3年に白木屋呉服店の鉄骨も担当しました。

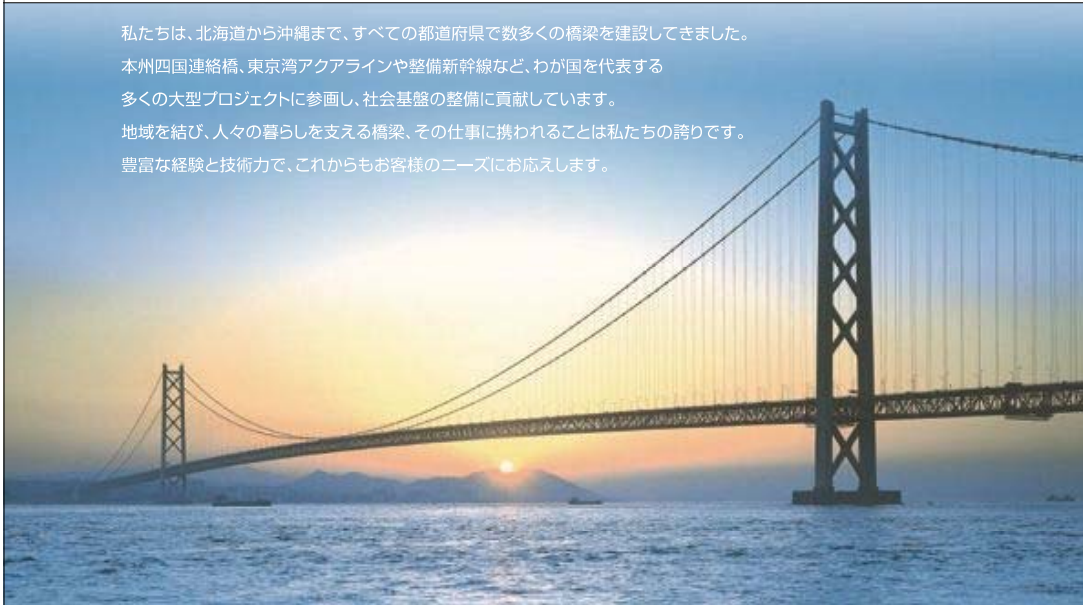


2013 歌舞伎座
規模:地下4階・地上29階・塔屋2階
鋼重:当社製作分10,640t
歌舞伎座が複合施設GINZA KABUKIYAとして生まれ変わりました。
当社は劇場部およびタワー部の鉄骨を担当しました。
昭和25年に戦禍再建された先代の歌舞伎座にも当社は携わっています。

※鋼重の()内は、当社製作分です
FaB-Tec Japan Corporation | 6

昭和初期より架け続け、実績は既に5,000橋。
全国に広がる信頼の技術力が私たちの誇り。

私たちは、北海道から沖縄まで、すべての都道府県で数多くの橋梁を建設してきました。
本州四国連絡橋、東京湾アクアラインや整備新幹線など、わが国を代表する多くの大型プロジェクトに参画し、社会基盤の整備に貢献しています。
地域を結び、人々の暮らしを支える橋梁、その仕事に携われることは私たちの誇りです。
豊富な経験と技術力で、これからもお客様のニーズにお応えします。



1997 アクアブリッジ

発注者:東京湾横断道路(株)
型式:連続鋼床板箱桁橋、他
橋長:4,384m
幅員:21.5m
鋼重:54,500t(6,221t)

東京湾アクアラインは、神奈川県川崎市と千葉県木更津市を結ぶ約15kmの高速道路。
当社は、木更津沖合部の橋桁と橋脚、そして川崎人口局にある“風の塔”を建設しました。

1998 明石海峡大橋

発注者:本州四国連絡橋公団
型式:3径間2ヒンジ補剛吊橋
橋長:3,911m
幅員:35.5m
鋼重:212,000t(7,114t)

神戸市垂水区と淡路市岩屋を結ぶ世界最長の吊橋。
その主塔間にパイロットロープを張るのに、世界で初めてヘリコプターが使用されました。

1993 レインボーブリッジ

発注者:首都高速道路公団
型式:3径間2ヒンジ補剛吊橋
橋長:798m
幅員:29m
鋼重:48,000t(3,965t)

東京都港区の芝浦地区と開発が進む豊洲副都心(台場地区)を結ぶ吊橋。
季節や時期によって様々に変化するイルミネーションは、東京港の夜を美しく彩ります。



1991 スカイゲートブリッジR

発注者:関西国際空港(株)
型式:連続箱桁橋、連続トラス橋、他
橋長:延長3,750m
幅員:30m
鋼重:75,000t(8,448t)

関西国際空港がある空港区と陸地を結ぶ“空港連絡橋”です。
愛称の“R”は、「Road」、「Railway」、「Rinku」等の頭文字を表しています。



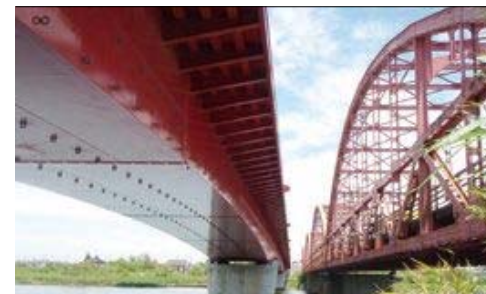
1998 名港トリトン

発注者:日本道路公団
型式:3径間連続斜張橋
橋長:名港中央大橋1,170m、名港西大橋758m
幅員:34m、19.4m
鋼重:38,700t(5,667t)、11,450t(1,680t)
名港トリトンとは、名古屋港を東西に結ぶ3つの斜張橋の総称です。
3つの橋の塗装色は、青・赤・白のトリコロールカラーでコーディネートされています。

2003 荒川橋りょう

発注者:日本鉄道建設公団 東京支社
型式:3径間連続トラス橋
橋長:450m
幅員:8.4m
鋼重:4,767t(1,320t)

秋葉原-つくば間を結ぶ「つくばエクスプレス」の荒川をひと跨ぎする鉄道橋です。
192mの中央径間は、鉄道トラス橋としては国内最大級の規模です。



2011 湊大橋

発注者:茨城県
型式:4間連続鋼床板箱桁
橋長:401m
幅員:12m
鋼重:2,221t(1,036t)

那珂川の河口から2番目、水戸市とひたちなか市の境に架かる橋。
右に見えるのは旧橋で、その後、取り壊しとなりました。

※鋼重の()内は、当社製作分です



Re-BRIは 3R(Reduce, Reuse, Recycle)と Bridge(に由来した造語)です。

橋梁の定期点検から補修・補強工事までの メンテナンス・サービスを「ワンストップ」で提供します。

日本の高度経済成長期に数多く造られた橋梁は、今後、建設50年を超えるものが次々と増加し、交通の安全・安心を確保するために、これらの橋梁の長寿命化を図ることが大きな課題となっています。

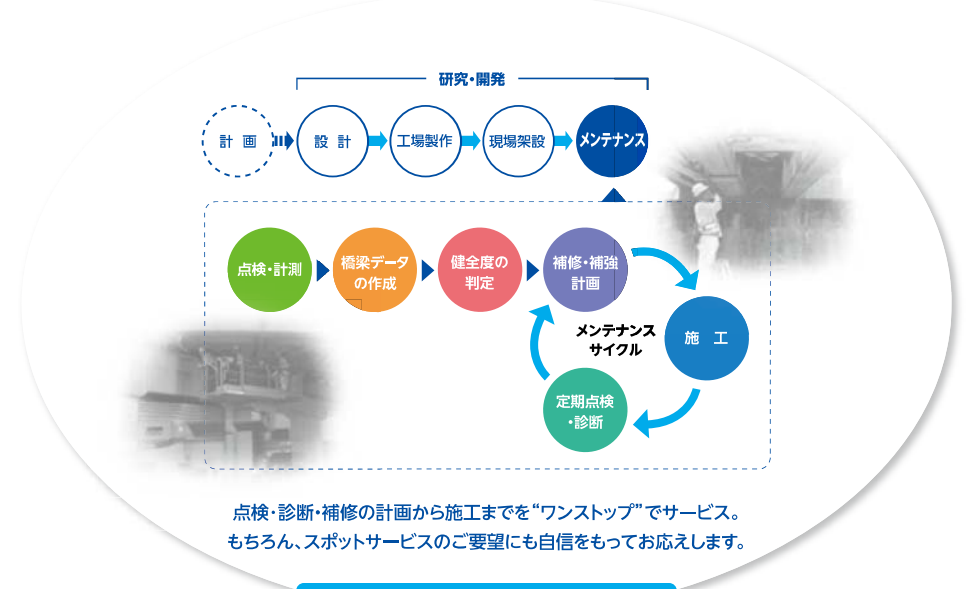
Re-BRI(リブリ)は、橋梁保守の分野で私たちが持つ半世紀におよぶ実績を背景に、点検・診断・補修の計画から施工まで、一連のプロセスを「ワンストップ」で提供するサービスです。私たちは、これら橋梁保守の最前線で培ってきた経験とノウハウ、そして技術力をベースに、予防保全という視点からも、お客様に高品質なメンテナンス・サービスを提供します。Re-BRI(リブリ)システムは、鋼橋の長寿命化とライフサイクルコストの低減をサポートします。

- 特長**
- 鋼橋を知り尽くした私たちが提供する安心のシステム
 - 点検・診断から始まる万全なメンテナンスサイクル
 - ひとつひとつのプロセスにおける、的確な技術・工法の提供
 - 定期点検と必要に応じた施工による「橋梁の長寿命化」サポート



箱根登山鉄道早川橋梁:1888年(明治21年)に英国で製造された天竜川橋梁の一部を現在の場所に移設した日本最古の鉄道橋です。私たちは今でも定期的な点検・補修を行いながら日本最古の鉄道橋を見守っています。

Maintenance



点検・診断・補修の計画から施工までを「ワンストップ」でサービス。もちろん、スポットサービスのご要望にも自信をもってお応えします。

[Re-BRI]の技術を支えるポイント

- 鋼鉄道橋を中心に行ってきた500橋以上の点検・調査業務
- 設計・製作から架設までを手掛ける私たちだからこそできる最適な計画・施工
- 50年以上に亘る豊富な実績・経験に基づく補修・補強工事

メンテナンス(補修・補強)事例

<p>腐食補修例</p> <p>腐食亀裂を起こした部材・リベットを新規部材・高力ボルトに交換</p>	<p>Before</p> <p>After</p>
<p>耐力補強例</p> <p>耐震補強部材設置および全面塗り替えにより長寿命化をサポート</p>	<p>Before</p> <p>After</p>

創業以来、一世紀に亘って積み上げた歴史ある建造物を紹介します。

▲ 社会の動き ▼

1910年代 ▶ 1920年代 ▶ 1930年代 ▶ 1940年代 ▶ 1950年代 ▶ 1960年代 ▶ 1970年代 ▶ 1980年代 ▶ 1990年代 ▶ 2000年代 ▶ 2010年代

第一次世界大戦勃発(1914)
ロシア革命(1917)
米騒動(1918)
関東大震災(1923)
世界大恐慌(1929)

二・二六事件(1936)
第二次世界大戦勃発(1939)
太平洋戦争開戦(1941)
東京大空襲(1945)

サンフランシスコ平和条約(1951)
テレビ放送開始(1953)

日米安全保障条約(1960)
東京オリンピック開催(1964)

日本万国博覧会開催(1970)
沖縄返還(1972)
オイルショック(1973)
日中平和友好条約(1978)

科学万博つくば'85開催(1985)
昭和天皇崩御・平成に改元(1989)
東西ドイツ統一達成(1990)
阪神・淡路大震災(1995)

米国同時多発テロ事件(2001)
多国籍軍によるイラク進攻(2003)
リーマンショック(2008)
東日本大震災(2011)
東京オリンピック開催(2020)

1914
現在の清水建設(株) 東京木工場(東京都江東区木場)内に「鉄工所」として創業

1917
「片山商店」として大阪市西区新町に創業

1921
「片山惣二郎商店 鉄工部」に改称

1928
「合資会社東京鐵骨橋梁製作所」に商号を改める(清水組から分離独立)

1928
白木屋呉服店:当社が初めて請負った商業施設。その後、「東急百貨店日本橋店」と改称しました。

1928
五反田駅東越跨線橋:当社が手掛けた本格的な橋梁第1号。現在も現役に活躍しています。

1934
「片山鐵工所」に改称

1938
清水組深川工作場(1915)

1938
銀眉橋:美しい女性の眉のような形をしていることから、この名が付けました。現在も、その姿を見ることができます。

1941
「株式会社片山鉄工所」に組織変更

1948
「株式会社東京鐵骨橋梁製作所」に組織変更

1957
旧東京都庁舎:「丸の内庁舎」の名でも知られた建物。当社は、その跡地に建つ「東京国際フォーラム」にも携わりました。

1958
浅草寺本堂(観音堂):当社は東京大空襲で焼失した本堂の再建工事に携わりました。更に1973年には五重塔の再建にも関わっています。

1963
取手工場 開設

1964
熊谷工場 開設

1967
福島第一工区高築橋:第2回田中賞作品部門を受賞。当社がそれまでに手掛けた中でも、類をみない超大型プロジェクトでした。

1968
霞が関ビルディング:超高層ビルのパイオニア的存在で、日本で初めて高さが100メートルを超えたビルです。

1970
日本万国博覧会 日本政府館:日本で初めて開催された通称大阪万博・EXPO'70。当社は日本政府館のほかにも、いくつものパビリオンを手掛けました。

1976
防府工場 開設

1977
東大寺金堂:「大仏殿」の名で広く知られている世界最大級の木造建築物。当社は屋根の再修繕に携わりました。

1983
因島大橋:当社が初めて手掛けた本四架橋。その後、当社は数多くの本四連絡橋プロジェクトに参画しました。

1985
千葉臨海工場 開設

1988
瀬戸大橋:瀬戸内海を跨いで本州と四国に架かる10の橋の総称。鉄道道路併用橋としては世界最長で、まさに夢の架け橋となりました。

1992
「片山ストラテック株式会社」に社名変更

1993
全日本空輸東京第1号格納庫:世界最大級の航空機格納庫で、屋根部は斜格子トラスで覆われています。同時に航空機を5機まで格納・整備できます。

1996
3号神戸線復旧工事:1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災。未曾有の災害となり、橋梁の損傷も甚大でしたが、全社を挙げて取り組み、極めて短い期間でインターチェンジを復旧させました。

1997
「株式会社東京鐵骨橋梁」に社名変更

2002
江の島展望灯台:当社は昭和25年の旧展望灯台の移築工事に参画。半世紀の時を経て、新しい展望灯台への建替工事も携わりました。

2011
柴川運河橋:山口県宇部市の柴川運河に架かる美しいカーブを描く橋。かつて携わった「かつしかパーゴラ」に次ぐ国内2例目となるS字型曲線斜張橋です。

2011
福島原発1号機原子炉建屋カバーリング工事:2011年3月11日に発生した東日本大震災。当社は放射性物質の飛散を防ぐ建屋カバーの全量を製作し、橋梁架設技術も活用して現地に搬入付けを行いました。

2012
モード学園コクーンタワー:世界で最も魅力的な校舎ベスト10に選ばれたコクーン(コクーン)のような外觀が特徴的な建物です。

2017
「日本ファブテック株式会社」に社名変更

旧(株)東京鐵骨橋梁の沿革
旧片山ストラテック(株)の沿革

本社 / 取手工場 〒302-0038 茨城県取手市下高井1020
TEL 0297-78-1111 FAX 0297-78-5462

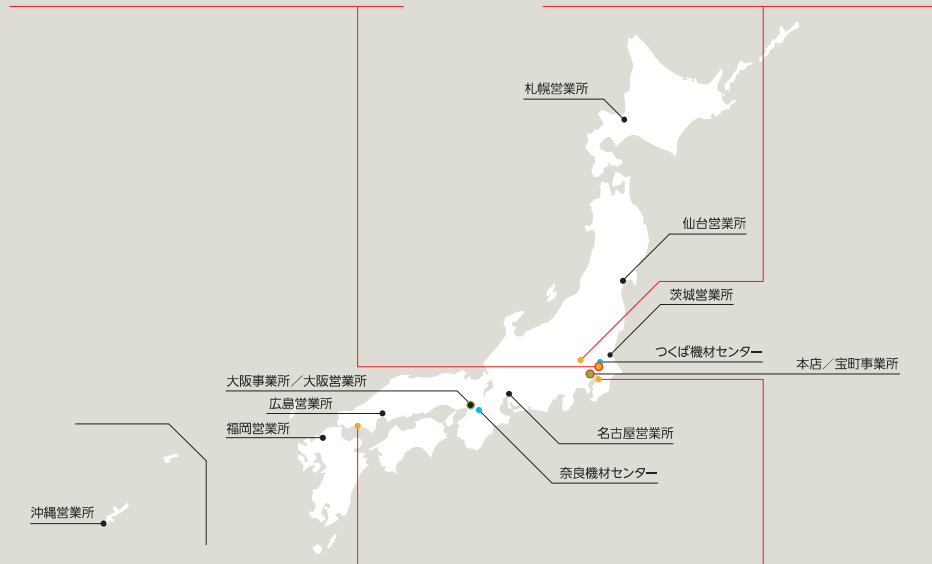


敷地総面積: 154,000㎡

熊谷工場 〒360-0115 埼玉県熊谷市成沢1214-3
TEL 048-536-1231 FAX 048-536-4404



敷地面積: 71,900㎡



防府工場 〒747-0833 山口県防府市浜方283-1
TEL 0835-23-5100 FAX 0835-22-9848



敷地面積: 120,000㎡

千葉臨海工場 〒290-0067 千葉県市原市八幡海岸通13-11
TEL 0436-41-5292 FAX 0436-43-5922



敷地面積: 72,000㎡

安全・品質・環境方針

安全衛生方針

全員が「やるべきこと」を確実に実施し、
「無事故・無災害」を達成する。

以上のことを実行するため、社長として以下の安全衛生方針を表明する。

1. 人命尊重の理念に立ち、社員の安全と健康を確保する。
2. 全社員の能力を結集し、安全衛生活動の活性化を図る。
3. 労働安全衛生関係法令、社内安全衛生関係規定等を順守する。
4. 当社の労働安全衛生マネジメントシステム(LFaBコスモス)を確立し、労働災害の防止を図る。

品質・環境方針

「顧客のニーズ・法令・規則」を遵守し、
技術力向上と環境負荷の低減を目指す。

〈品質〉

私は、日本ファブテック株式会社の社長として、当社の銷構造物に関し、上記のことを品質方針として声明する。
この方針を具体化する方策は次の通りである。

1. 顧客要求事項及び法令・規制要求事項を満たす材料、製法、工法をよく検討し、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001に則して、品質・コスト・納期・安全で活発のいく製品の設計・製作・据付けを行う。
さらに当社が長年に亘り、蓄積した技術を標準化し、固有技術の維持、伝承、改善に努める。
2. 新工法、新技術の開発研究に積極的に取り組み、成果を活用することにより品質保証、納期の短縮、コストダウンに寄与する。
3. 全社的に不適合の改善活動を推進し、安定した製品の生産、据付けを行う。
4. 「品質方針」に整合した「年度品質方針」を設定し、それに基づき部署毎に「品質目標」を設定させ、設定された「品質目標」の達成状況をマネジメントレビューで確認し、指示及び承認を行う。
5. 顧客及び法的要求事項を満たした銷構造物を提供する。
6. この品質方針に基づいた品質マネジメントシステムが引き続き適切、かつ効果的に運営されることを確実にすると共にさらなる改善・向上を目的として、当品質マニュアルに定めるマネジメントレビューを実施して関連部門の社員に徹底する。

〈環境〉

基本姿勢

日本ファブテック株式会社は、環境の保全が企業として
配慮しなければならない重要課題の一つであることを強く認識し、
鉄骨、橋梁など鋼構造物製品の生産・施工に関わる全ての段階において、
「環境負荷の少ない事業活動の実践」をモットーにして、
社会の持続的発展に寄与していく。

行動指針

1. 国際規格ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築、維持し、継続的改善を図る。
2. 環境に関わる法律、規則、並びに協定などを順守する。
3. 当社の事業活動の中で環境に与える影響項目を抽出、評価し、環境負荷の低減と汚染の予防を目指す。
4. 事業活動に関わる環境保全行動の内、次の項目を環境保全重点テーマとし、環境目標を定め、環境改善活動を展開する。
(1) 地球温暖化防止 (CO₂の削減)
(2) 省資源
5. 環境教育活動を推進し、全従業員の環境に対する意識と知識の向上を図り、ひいては当社の生産コストの低減に資する。
6. この環境マネジメントシステムが引き続き適切、かつ効果的に運営されることを確実にすると共に、更なる改善・向上を目的として活動状況のレビューなどを実施して、環境マネジメントシステムを全社員に徹底する。

上記の環境方針に基づいて構築した品質・環境マネジメントシステムを文書化し、実施、維持するため、安全・品質・環境推進室長を管理責任者に任命し、品質・環境マネジメントシステムの実施・維持のために権限を委譲する。

日本ファブテック株式会社 代表取締役社長

小野重記

会社概要

商号	日本ファブテック 株式会社	建設業許可	国土交通大臣 (特-27)第4765号 許可年月日:2015年(平成27年)8月15日
創業	1914年(大正3年)	建設コンサルタント登録	建27第6822号 登録年月日:2015年(平成27年)3月15日
設立	1928年(昭和3年)	一級建築士事務所登録	茨城県知事登録第A3533号 登録年月日:2016年(平成28年)9月1日
資本金	24億3,780万円	ISO 9001取得	MSA-QS-1 取得年月日:1997年(平成9年)6月20日
従業員数	約700名	ISO 14001取得	MSA-ES-235 取得年月日:2003年(平成15年)12月17日
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨、橋梁、鉄塔、水門、プラント鉄骨等各種鋼構造物、軽金属構造物の設計、製作ならびに建設工事 ・上記に関する各種の調査、診断ならびに補修工事 ・クレーンその他建設、工作用諸機械の設計、製作、据付ならびに修理 ・土木、建築、その他建設工事 ・情報処理機器を利用したソフトウェアの開発、販売ならびに処理サービス業 ・上記各項に関する調査、研究、技術開発ならびにコンサルティング業務 	COHSMS認定	JC135-1 取得年月日:2014年(平成26年)8月1日

拠点

本店

〒104-0031
東京都中央区京橋2-17-4 京橋清水ビル
TEL 03-3562-7861
FAX 03-3562-7862

茨城営業所

〒310-0852
茨城県水戸市笠原町978-25 茨城県開発公社ビル
TEL 029-305-8870
FAX 029-305-8871

取手工場

〒302-0038
茨城県取手市下高井1020
TEL 0297-78-1111
FAX 0297-78-5462

本社

〒302-0038
茨城県取手市下高井1020
TEL 0297-78-1111
FAX 0297-78-5462

名古屋営業所

〒460-0008
名古屋市中区栄4-6-15 フォーティーンヒルズセンタービル
TEL 052-241-0440
FAX 052-263-9885

熊谷工場

〒360-0115
埼玉県熊谷市成沢1214-3
TEL 048-536-1231
FAX 048-536-4404

宝町事業所

〒104-0031
東京都中央区京橋2-18-3 宝町清水ビル
TEL 03-3538-3681
FAX 03-3538-3684

大阪営業所

〒550-0001
大阪市西区土佐堀1-3-7 肥後橋シミズビル
TEL 06-7730-9123
FAX 06-7730-9119

千葉臨海工場

〒290-0067
千葉県市原市八幡海岸通13-11
TEL 0436-41-5292
FAX 0436-43-5922

大阪事業所

〒550-0001
大阪市西区土佐堀1-3-7 肥後橋シミズビル
TEL 06-7730-9120
FAX 06-7730-9125

広島営業所

〒730-0011
広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル
TEL 082-221-4838
FAX 082-221-4839

防府工場

〒747-0833
山口県防府市浜方283-1
TEL 0835-23-5100
FAX 0835-22-9848

札幌営業所

〒060-0001
札幌市中央区北1条西2-1 札幌時計台ビル
TEL 011-221-7725
FAX 011-222-0383

福岡営業所

〒810-0001
福岡市中央区天神4-1-18 サンビル
TEL 092-771-6346
FAX 092-752-0486

つくば機材センター

〒300-2311
茨城県つくばみらい市野堀479
TEL 0297-58-1152
FAX 0297-58-5037

仙台営業所

〒980-0803
仙台市青葉区国分町2-14-24 仙台松井ビル
TEL 022-223-9088
FAX 022-265-4153

沖縄営業所

〒900-0015
那覇市久茂地2-10-16 南栄ビル
TEL 098-863-6460
FAX 098-866-5061

奈良機材センター

〒636-0213
奈良県磯城郡三宅町大字伴堂